

## バイオバンク・ネットワークの試料・情報を利用する研究課題の公募 (第2回)

バイオバンクの試料・情報を利用した研究をしませんか？

バイオバンク横断検索システムにより、下記の12のバイオバンクの47万人の協力者、103万個の生体試料、23万件の解析情報を検索して、研究計画を立案し、研究をしませんか？

対象となる試料・情報

下記の12のバイオバンクの試料・情報

- バイオバンク・ジャパン (BBJ)
- 東北メディカル・メガバンク計画 (TMM)
- ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク (NCBN; 6NC)
  - 国立がん研究センター バイオバンク (NCCバイオバンク)
  - 国立循環器病研究センター バイオバンク (NCVCバイオバンク)
  - 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク (NCNPバイオバンク)
  - 国立国際医療研究センター バイオバンク (NCGMバイオバンク)
  - 国立成育医療研究センター バイオバンク (NCCHDバイオバンク)
  - 国立長寿医療研究センター バイオバンク (NCGGバイオバンク)
- 京都大学医学部附属病院クリニカルバイオリソースセンター (KUB)
- 東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター (TMD)
- 筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター (THB)
- 岡山大学病院バイオバンク (OBB)

本公募研究では、よりスムーズに研究を開始いただくため、バイオバンクの試料・情報を利用した研究に特化した倫理審査支援システムをご利用いただくことが可能です。基礎研究者や医学部以外からの応募も歓迎します。

## 検索対象のバイオバンク

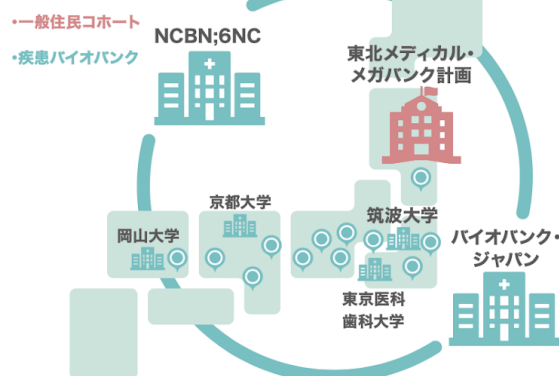
### 3大バイオバンク

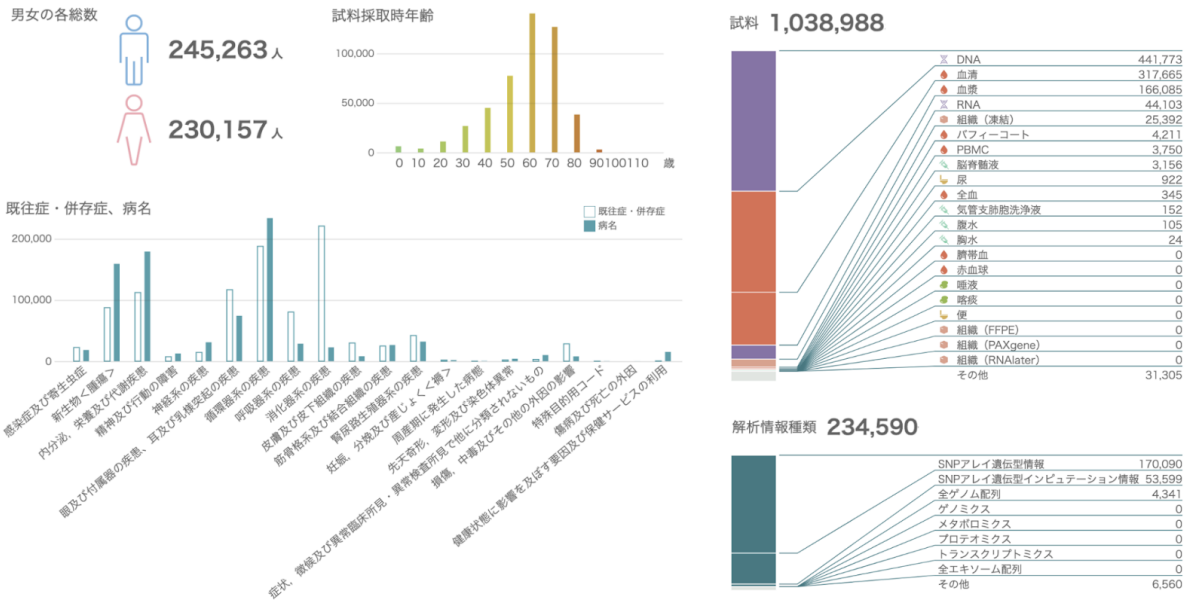
- バイオバンク・ジャパン (BBJ)
- 東北メディカル・メガバンク計画 (TMM)
- ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク (NCBN;6NC)  
国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国立国際医療研究センター、国立成育医療研究センター、国立長寿医療研究センター

### 診療機関併設型バイオバンク

- 京都大学医学部附属病院クリニカルバイオリソースセンター (KUB)
- 東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター (TMDU-BRC)
- 筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター (THB)
- 岡山大学病院バイオバンク (OBB)

バイオバンク イメージマップ





## 横断検索システムの使い方 ③ステップ

**1**



**Webサイトへアクセスする**  
 以下URLからユーザー登録申請を行い、アカウント発行を受けてご利用ください。

**2**



**検索条件を選択する**  
 (年齢、性別、病名、試料種類など)

**3**



**条件にあった結果がリスト表示される**  
 (各バイオバンクへメール問合せ可能)

**バイオバンク横断検索システム**      <https://biobank-search.megabank.tohoku.ac.jp/>

### 申請資格

応募時点において、所属する機関から次の要件を満たす研究者であると認められる研究者であること

- 研究機関に、当該機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問わない。また、研究活動そのものを主たる職務とすることを要しない。）であること
- 当該機関の研究活動に実際に従事していること（研究の補助のみに従事している場合は除く。）
- 大学院生等の学生でないこと（ただし、所属する研究機関において研究活動を行うことを本務とする職に就いている者（例：大学教員や企業等の研究者など）で、学生の身分も有する場合を除く。）

## 採択条件

- バイオバンク横断検索システムにより試料・情報を検索のうえ研究計画を立案すること
- 医学研究 または ゲノム医療の実現に資する研究であること
- 科学的・倫理的妥当性があり、当該研究に関連した研究実績があること
- 申請者が所属する機関が当該研究を遂行するにあたり、十分な研究設備および人材を有すること
- バイオバンクが当該試料・情報を提供できる見込みがあること

なお、バイオバンクを横断した試料・情報の利用と、本研究班が定める倫理審査委員会へに倫理審査を委託する研究課題を優先して採択します。

## 申請期間

2021年10月29日～11月30日

## 申請方法

バイオバンク横断検索システムにユーザ登録のうえ、試料・情報を検索して、研究計画を立案のうえ、申請書に必要事項を記入し、申請期間内に下記の申請先にメールにてご提出してください。

## 申請先

application @ biobank-network.jp

申請を受け付けますと、メールにて受け付けましたことをご返信いたします。

申請後、研究課題の内容について確認のうえ、審査を行います。採択されますと、倫理申請、各バイオバンクの利用申請・審査を経て、各バイオバンクとの試料・情報利用の契約締結等の利用手続きに進みます。

本研究課題公募では、申請手続きに関わる費用、試料・情報の利用に関わる費用（各バンクの規定に基づいた課金等による費用）について、一定額までは費用負担は生じません。

なお、本バイオバンク・ネットワークの、試料・情報の利用についてのアンケートへのご協力をお願いいたします。また、本研究班によるワークショップなどへのご協力をお願いすることがあります。

## 問合せ先

AMED ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム（ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム）

「ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援の研究開発」バイオバンク・ネットワーク事務局

contact @ biobank-network.jp

バイオバンクの試料・情報の利用にあたっては、目的外使用の禁止、残余検体・情報の第三者への提供の禁止など、各バイオバンクの規約等にしてください。

申請内容は本バイオバンク・ネットワーク内で共有します。秘匿したい内容は記載いただかなくても構いません。ただし、事務局および試料・情報を提供するバイオバンクから内規等に基づいて内容の開示を求められる場合があります。

本公募により実施した研究の成果の公表にあたっては、当バイオバンク・ネットワークを利用したことを謝辞に記載してください。

AMED ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム（ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム）の研究課題では、ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援の研究開発に取り組んでいます。

本研究利用は、本研究課題の研究開発のため、バイオバンク横断検索システムによるバイオバンク・ネットワークの試料・情報を利用した研究支援を実施し、研究支援の利用者から、バイオバンク横断検索システムによるバイオバンク・ネットワークの試料・情報の利用についてのユーザからのフィードバックをいただくことを目的としています。